

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-141	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	コ I ・ 337	<b>Compass</b> English Communication I Revised		

## 1. 編修上の趣旨及び留意点

教育基本法，学校教育法並びに学習指導要領に則って，外国語を学ぶことを通じて，自律した個人として我が国社会の形成・発展に貢献できるとともに，国際社会の平和と発展に寄与できる人材を養うための教科書を目指しました。

## 2. 編修の基本方針

- ◎高校英語に無理なく移行するため，中学での既習事項と関連づけながら，基礎・基本の定着を図る。
- ◎生徒の学習意欲を高めるため，学校生活や家庭生活に関連した身近なテーマの題材を多く取り入れる。
- ◎4技能をバランスよく統合した活動を工夫する。
- ◎文法はコミュニケーションを支えるものという立場に立ち，実際に英語を使用する場面を多く設定する。
- ◎写真やイラスト等を適切に使い，学びやすさへ配慮する。

## 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1 Dear Fifteen-year-olds	ミュージシャンのアンジェラ・アキさん，フィギュアスケート選手の羽生結弦さん，科学者の山中伸弥さんの高校生へのメッセージを取り上げることで，個人の価値を尊重して，その能力を伸ばし，創造性を培い，自主及び自律の精神を養うとともに，職業及び生活との関連を重視し，勤労を重んずる態度を養うことを目指しました。（第2号）	pp. 5-16
Lesson 2 Nature's Number Ones	自然界の動物や植物の驚異を取り上げることで，生命を尊び，自然を大切に，環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。（第4号）	pp. 17-28
Lesson 3 Kimonos are Cool!	日本の伝統衣装である着物が，英語でも KIMONO と呼ばれており，また世界の人々にも受け入れられている様子を紹介することで，伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。（第5号）	pp.29-40
Lesson 4 Brave Mari and Her Puppies	災害を乗り越えた犬と人間の絆を描くことにより，正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。（第3号）	pp.41-52

Quiz 1 日英ことわざ比べ	日本語と英語のことわざを比べることにより、幅広い知識と教養を身に付けることを目指しました。(第1号)	p. 53
Supplementary Reading 1 The Capricious Robot	ロボットに翻弄される人間の姿を描くことにより、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 54-58
Lesson 5 Saki's First Trip to Australia	オーストラリアに留学した高校生の体験談を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第5号)	pp. 59-70
Lesson 6 Blue Skies	飼っていた鳥との別離と再会のストーリーを通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。(第4号)	pp. 71-82
Lesson 7 The World of Colors	色が人の心理に与える影響や文化によって色の持つイメージが違うことを紹介することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指しました。(第1号)	pp. 83-94
Lesson 8 The Ig Nobel Prize	ユニークな科学研究に与えられる「イグ・ノーベル賞」を紹介することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指しました。(第2号)	pp. 95-106
Quiz 2 カタカナ英語にご用心	日本語のカタカナ語が英語とは違うことを理解することで、幅広い知識と教養を身に付けることを目指しました。(第1号)	p. 107
Supplementary Reading 2 Saved by Sport	パラリンピック選手の佐藤真海さんの経験やこれからの夢を紹介することで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 108-112
Lesson 9 The Story of Chocolate	チョコレートの歴史と世界での生産・消費の現状を紹介することで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指しました。(第3号)	pp. 113-124
Lesson 10 The Coral Crisis	世界中の海でサンゴ礁の被害が問題になっている背景やその原因を知ることによって、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指しました。(第4号)	pp. 125-136

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-141	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	コ I ・ 337	<b>Compass</b> English Communication I Revised		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ◎高校英語に無理なく移行する工夫

- ・各レッスンの本文総語数は300～400語程度とし、読んだり聞いたりした内容について概要・要点を把握する課題を設定しました。
- ・文法事項・文構造については、中学校の項目の復習に重点を置き、新出事項も既習事項と関連づけて学習できるよう配列等にも配慮しました。
- ・文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法用語の使用は最小限に抑え、学んだ文法事項を実際に使ってみる活動を多く取り入れました。

### ◎学びやすさへの配慮

- ・1レッスンを4パートに分け、各パートを見開き2ページで構成しています。授業で学習する内容が一目で分かるよう工夫しました。
- ・生徒の学習意欲を高めるため、生徒に身近な話題を多く取り上げました。
- ・写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫しました。

### ◎4技能を統合した活動の工夫

- ・各パートに、ペア活動を中心とする言語活動を配置し、生徒の身近な話題について話したり聞いたりする活動を設定しました (Use it!)。
- ・各パート・レッスンには、本文の内容理解を確認するための聞く・話す・書く課題を設定しました (Answer it!, Review)。
- ・各レッスンには、本文のテーマや言語材料に関連した言語活動 (話す・聞く・書く) を配置し、生徒が学んだ英語を実際に使ってみる場面を設定しました (Enjoy communication)。

## ■各レッスンの構成■

1. **各レッスン扉**—本文へスムーズに導入できるよう、写真を中心に視覚的な配慮を施しました。
2. **本文**—英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほとんどの教材はネイティブ・スピーカーによる書き下ろしです。各パートには脚注と新出単語の提示の他、<Sound>として音読する際の発音上の注意点をあげています。
3. **本文対向ページ**—①Answer it! : 本文の内容理解確認のQ&A。②Focus on it! : ターゲットとなる文法事項の提示。色分けや記号等で視覚的にも理解できるよう配慮しました。③Check it! : 文法事項の確認問題。基本的なものに絞りました。④Use it! : 学んだ文法事項を使ってペアで会話練習する言語活動を用意しました。
4. **各レッスン末**—①Review : 本文の内容について、A.リスニングによるT-F, B.本文の内容に合わせた様々な形式 (空所補充, 文の並べ替え等) で確認する問題。②Practice : 本文で学んだ文法事項や語彙・表現を確認する練習問題。イラストを使うなど言語形式と使用場面を関連づけるよう配慮しました。③Enjoy communication : 本文と関連するテーマについて話す・書く活動を中心としたコミュニケーション活動。理解や表現のポイントをあげ、生徒が自分のことや身近なことを英語で表現できるよう配慮しました。
5. **Supplementary Reading**—補充的読み物教材を2編用意しました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Lesson 1 Dear Fifteen-year-olds	<p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。 ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。 ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p> <p>第3款 英語に関する各科目に共通する内容等 1 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面：手紙やメールのやりとり／b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：学校での学習や活動 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、繰り返す／b 気持ちを伝える：褒める、驚く／c 情報を伝える：説明する 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (h) 動詞の時制など</p>	<p>(1) ア：本文 (p.6, 8, 10, 12), Review A (p.14) (1) イ：本文 (p.6, 8, 10, 12), Answer it! (p.7, 9, 11, 13), Review B (p.14) (1) ウ：Use it! (p.7, 9, 11, 13), Enjoy communication (p.16) (1) エ：Review B (p.14), Practice (pp.15-16) (2) ア：本文, Sound (p.6, 8, 10, 12), Use it! (p.7, 9, 11, 13), Enjoy communication (p.16) (2) イ：本文 (p.6, 8, 10, 12), Practice (pp.15-16) (2) ウ：Answer it!, Use it! (p.7, 9, 11, 13), Enjoy communication (p.16)</p> <p>第3款 1：本文(p.6, 8, 10, 12), Use it! (p.7, 9, 11, 13), Review B (p.14), Enjoy communication (p.16) 2：Focus on it!, Check it! (p.7, 9, 11, 13), Practice (pp.15-16)</p>	9
Lesson 2 Nature's Number Ones	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面：旅行／b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、繰り返す／b 気持ちを伝える：褒める、驚く／c 情報を伝える：説明する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する、主張する／e 相手の行動を促す：助言する 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (g) 助動詞の用法</p>	<p>(1) ア：本文 (p.18, 20, 22, 24), Review A (p.26) (1) イ：本文 (p.18, 20, 22, 24), Answer it! (p.19, 21, 23, 25), Review B (p.26) (1) ウ：Use it! (p.19, 21, 23, 25), Enjoy communication (p.28) (1) エ：Review B (p.26), Practice (pp.27-28) (2) ア：本文, Sound (p.18, 20, 22, 24), Use it! (p.19, 21, 23, 25), Enjoy communication (p.28) (2) イ：本文 (p.18, 20, 22, 24), Practice (pp.27-28) (2) ウ：Answer it!, Use it! (p.19, 21, 23, 25), Enjoy communication (p.28)</p> <p>第3款 1：Use it! (p.19, 21, 23, 25), Enjoy communication (p.28) 2：Focus on it!, Check it! (p.19, 21, 23, 25), Practice (pp.27-28)</p>	9
Lesson 3 Kimonos are Cool!	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動／c 多様な手段を通じて情報などを得る場面：情報通信ネットワークを活用し情報を得ること [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、繰り返す／b 気持ちを伝える：褒める、驚く／c 情報を伝える：説明する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する、主張する／e 相手の行動を促す：助言する／誘う 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの</p>	<p>(1) ア：本文 (p.30, 32, 34, 36), Review A (p.38) (1) イ：本文 (p.30, 32, 34, 36), Answer it! (p.31, 33, 35, 37), Review B (p.38) (1) ウ：Use it! (p.31, 33, 35, 37), Enjoy communication (p.40) (1) エ：Review B (p.38), Practice (pp.39-40) (2) ア：本文, Sound (p.30, 32, 34, 36), Use it! (p.31, 33, 35, 37), Enjoy communication (p.40) (2) イ：本文 (p.30, 32, 34, 36), Practice (pp.39-40) (2) ウ：Answer it!, Use it! (p.31, 33, 35, 37), Enjoy communication (p.40)</p> <p>第3款 1：本文 (p.30, 32, 34, 36), Use it! (p.31, 33, 35, 37), Enjoy communication (p.40) 2：Focus on it!, Check it! (p.31, 33, 35, 37), Practice (pp.39-40)</p>	9

<p><b>Lesson 4</b> <b>Brave Mari and Her Puppies</b></p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動、地域での活動 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、聞き直す、繰り返す／b 気持ちを伝える：褒める、感謝する、驚く、心配する／c 情報を伝える：説明する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する、主張する／e 相手の行動を促す：助言する、命令する、注意を引く 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (r) 不定詞の用法</p>	<p>(1) ア：本文 (p.42, 44, 46, 48), Review A (p.50) (1) イ：本文 (p.42, 44, 46, 48), Answer it! (p.43, 45, 47, 49), Review B (p.50) (1) ウ：Use it! (p.43, 45, 47, 49), Enjoy communication (p.52) (1) エ：Review B (p.50), Practice (pp.51-52) (2) ア：本文, Sound (p.42, 44, 46, 48), Use it! (p.43, 45, 47, 49), Enjoy communication (p.52) (2) イ：本文 (p.42, 44, 46, 48), Practice (pp.51-52) (2) ウ：Answer it!, Use it! (p.43, 45, 47, 49), Enjoy communication (p.52) 第3款 1：本文 (p.42, 44, 46, 48), Use it! (p.43, 45, 47, 49), Enjoy communication (p.52) 2：Focus on it!, Check it! (p.43, 45, 47, 49), Practice (pp.51-52)</p>	<p>9</p>
<p><b>Quiz 1</b> <b>日英ことわざ比べ</b></p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>	<p>(1) ア：本文 (p.53) (1) イ：本文 (p.53)</p>	<p>1</p>
<p><b>Supplementary Reading 1</b> <b>The Capricious Robot</b></p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p>	<p>(1) ア：本文 (pp.54-57) (1) イ：本文 (pp.54-57) (1) ウ：Comprehension (p.58) (1) エ：Comprehension (p.58)  (2) イ：本文 (pp.54-57) (2) ウ：Comprehension (p.58)</p>	<p>4</p>
<p><b>Lesson 5</b> <b>Saki's First Trip to Australia</b></p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p> <p>第3款 1 [言語の使用場面の例] a 特有の表現がよく使われる場面：旅行、食事 b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、聞き直す、繰り返す、言い換える／b 気持ちを伝える：褒める、感謝する、驚く／c 情報を伝える：説明する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：申し出る／e 相手の行動を促す：依頼する、助言する、注意を引く 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (h) 動詞の時制など</p>	<p>(1) ア：本文 (p.60, 62, 64, 66), Review A (p.68) (1) イ：本文 (p.60, 62, 64, 66), Answer it! (p.61, 63, 65, 67), Review B (p.68) (1) ウ：Use it! (p.61, 63, 65, 67), Enjoy communication (p.70) (1) エ：Review B (p.68), Practice (pp.69-70) (2) ア：本文, Sound (p.60, 62, 64, 66), Use it! (p.61, 63, 65, 67), Enjoy communication (p.70) (2) イ：本文 (p.60, 62, 64, 66), Practice (pp.69-70) (2) ウ：Answer it!, Use it! (p.61, 63, 65, 67), Enjoy communication (p.70) 第3款 1：本文 (p.60, 62, 64, 66), Use it! (p.61, 63, 65, 67), Enjoy communication (p.70) 2：Focus on it!, Check it! (p.61, 63, 65, 67), Practice (pp.69-70)</p>	<p>9</p>
<p><b>Lesson 6</b> <b>Blue Skies</b></p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p>	<p>(1) ア：本文 (p.72, 74, 76, 78), Review A (p.80) (1) イ：本文 (p.72, 74, 76, 78), Answer it! (p.73, 75, 77, 79), Review B (p.80) (1) ウ：Use it! (p.73, 75, 77, 79), Enjoy communication (p.82) (1) エ：Review B (p.80), Practice (pp.81-82) (2) ア：本文, Sound (p.72, 74, 76, 78), Use it! (p.73, 75, 77, 79), Enjoy communication (p.82) (2) イ：本文 (p.72, 74, 76, 78),</p>	<p>9</p>

	<p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例]</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動</p> <p>[言語の働きの例]</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、繰り返す、言い換える／</p> <p>b 気持ちを伝える：褒める、感謝する、驚く、心配する／c 情報を伝える：説明する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する／e 相手の行動を促す：依頼する、助言する、注意を引く</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (イ) 不定詞の用法、(イ) 関係代名詞の用法</p>	<p>Practice (pp.81-82)</p> <p>(2) ウ：Answer it!, Use it! (p.73, 75, 77, 79), Enjoy communication (p.82)</p> <p>第3款</p> <p>1：本文 (p.72, 74, 76, 78), Use it! (p.73, 75, 77, 79), Enjoy communication (p.82)</p> <p>2：Focus on it!, Check it! (p.73, 75, 77, 79), Practice (pp.81-82)</p>	
Lesson 7 The World of Colors	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例]</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動</p> <p>[言語の働きの例]</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、聞き直す、言い換える／</p> <p>b 気持ちを伝える：褒める、感謝する／c 情報を伝える：説明する、報告する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：主張する／e 相手の行動を促す：依頼する、助言する</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (イ) 関係代名詞の用法、(イ) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの</p>	<p>(1) ア：本文 (p.84, 86, 88, 90), Review A (p.92)</p> <p>(1) イ：本文 (p.84, 86, 88, 90), Answer it! (p.85, 87, 89, 91), Review B (p.92)</p> <p>(1) ウ：Use it! (p.84, 86, 88, 90), Enjoy communication (p.94)</p> <p>(1) エ：Review B (p.92), Practice (pp.93-94)</p> <p>(2) ア：本文, Sound (p.84, 86, 88, 90), Use it! (p.85, 87, 89, 91), Enjoy communication (p.94)</p> <p>(2) イ：本文 (p.84, 86, 88, 90), Practice (pp.91-92)</p> <p>(2) ウ：Answer it!, Use it! (p.85, 87, 89, 91), Enjoy communication (p.94)</p> <p>第3款</p> <p>1：Use it! (p.85, 87, 89, 91), Enjoy communication (p.94)</p> <p>2：Focus on it!, Check it! (p.85, 87, 89, 91), Practice (pp.93-94)</p>	9
Lesson 8 The Ig Nobel Prize	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p> <p>第3款</p> <p>1 [言語の使用場面の例]</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動、地域での活動</p> <p>[言語の働きの例]</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、聞き直す、繰り返す／b 気持ちを伝える：褒める、感謝する、驚く／c 情報を伝える：説明する、報告する、理由を述べる、要約する、訂正する／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する／e 相手の行動を促す：依頼する、注意を引く</p> <p>2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (イ) 関係代名詞の用法、(イ) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの</p>	<p>(1) ア：本文 (p.96, 98, 100, 102), Review A (p.104)</p> <p>(1) イ：本文 (p.96, 98, 100, 102), Answer it! (p.97, 99, 101, 103), Review B (p.104)</p> <p>(1) ウ：Use it! (p.97, 99, 101, 103), Enjoy communication (p.106)</p> <p>(1) エ：Review B (p.104), Practice (pp.105-106)</p> <p>(2) ア：本文, Sound(p.96, 98, 100, 102), Use it! (p.97, 99, 101, 103), Enjoy communication (p.106)</p> <p>(2) イ：本文 (p.96, 98, 100, 102), Practice (pp.105-106)</p> <p>(2) ウ：Answer it!, Use it! (p.97, 99, 101, 103), Enjoy communication (p.106)</p> <p>第3款</p> <p>1：Use it! (p.97, 99, 101, 103), Enjoy communication (p.106)</p> <p>2：Focus on it!, Check it! (p.97, 99, 101, 103), Practice (pp.105-106)</p>	9
Quiz 2 カタカナ英語にご用心	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p>	<p>(1) ア：本文 (p.107)</p> <p>(1) イ：本文 (p.107)</p>	1
Supplementary Reading 2 Saved by Sport	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p> <p>ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。</p>	<p>(1) ア：本文 (pp.108-111)</p> <p>(1) イ：本文 (pp.108-111)</p> <p>(1) ウ：Comprehension (p.112)</p> <p>(1) エ：Comprehension (p.112)</p> <p>(2) イ：本文 (pp.108-111)</p> <p>(2) ウ：Comprehension (p.112)</p>	4

<p>Lesson 9 The Story of Chocolate</p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。 第3款 1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動、地域での活動 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ／b 気持ちを伝える：褒める、驚く／c 情報を伝える：説明する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する、主張する／e 相手の行動を促す：助言する 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (ウ) 関係副詞の用法、(ハ) 動詞の時制など、(ク) 分詞構文</p>	<p>(1) ア：本文 (p.114, 116, 118, 120), Review A (p.122) (1) イ：本文 (p.114, 116, 118, 120), Answer it! (p.115, 117, 119, 121), Review B (p.122) (1) ウ：Use it! (p.115, 117, 119, 121), Enjoy communication (p.124) (1) エ：Review B (p.122), Practice (pp.123-124) (2) ア：本文, Sound (p.114, 116, 118, 120), Use it! (p.115, 117, 119, 121), Enjoy communication (p.124) (2) イ：本文 (p.114, 116, 118, 120), Practice (pp.123-124) (2) ウ：Answer it!, Use it! (p.115, 117, 119, 121), Enjoy communication (p.124) 第3款 1：Use it! (p.115, 117, 119, 121), Enjoy communication (p.124) 2：Focus on it!, Check it! (p.115, 117, 119, 121), Practice (pp.123-124)</p>	<p>9</p>
<p>Lesson 10 The Coral Crisis</p>	<p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。 イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。 ウ 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること。 第3款 1 [言語の使用場面の例] b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面：家庭での生活、学校での学習や活動、地域での活動 [言語の働きの例] a コミュニケーションを円滑にする：相づちを打つ、話題を発展させる／b 気持ちを伝える：望む、驚く／c 情報を伝える：説明する、描写する、理由を述べる／d 考えや意図を伝える：賛成する、反対する、主張する、仮定する／e 相手の行動を促す：注意を引く、助言する 2 イ 文構造のうち、運用度の高いもの／ウ 文法事項 (イ) 関係代名詞の用法、(エ) 助動詞の用法、(キ) 仮定法</p>	<p>(1) ア：本文 (p.126, 128, 130, 132), Review A (p.134) (1) イ：本文 (p.126, 128, 130, 132), Answer it! (p.127, 129, 131, 133), Review B (p.134) (1) ウ：Use it! (p.127, 129, 131, 133), Enjoy communication (p.136) (1) エ：Review B (p.134), Practice (pp.135-136) (2) ア：本文, Sound (p.126, 128, 130, 132), Use it! (p.127, 129, 131, 133), Enjoy communication (p.136) (2) イ：本文 (p.126, 128, 130, 132), Practice (pp.135-136) (2) ウ：Answer it!, Use it! (p.127, 129, 131, 133), Enjoy communication (p.136) 第3款 1：本文 (p.126, 128, 130, 132), Use it! (p.127, 129, 131, 133), Enjoy communication (p.136) 2：Focus on it!, Check it! (p.127, 129, 131, 133), Practice (pp.135-136)</p>	<p>9</p>
<p>IDIOM LIST WORD LIST</p>	<p>ア 語、連語及び慣用表現 (イ) 語 a 「コミュニケーション英語Ⅰ」にあつては、中学校で学習した語に 400 語程度の新語を加えた語 (イ) 連語及び慣用表現のうち、運用度の高いもの</p>	<p>(イ)：WORD LIST (pp.139-144) (イ)：IDIOM LIST (pp.137-138)</p>	<p>—</p>
<p>計</p>			<p>100</p>